

おはよ



兵庫県障害児学校教職員組合(障教組)
神戸市中央区北長狭通5丁目2-10
高教組会館内

No. 13 2021.1.9



2021年が始まりました。昨年は、世界が大きく変化した大変な1年でした。
学校でも、変革を迫られることが続いており、あらためて「学校の在り方」が問われています。

「子どもや教職員、人間を大切に作る学校、社会をつくる」

障教組の基本方針です。「子どもからはじまる教育活動」を守り続けていきたいものです。

昨年は「おはよ」を読んでいただき、組合へのご支援ありがとうございました。今年も障害児教育を巡る情勢や障教組の活動、学習情報など、いち早くお伝えしていきたいと思えます。

2020年度 対県交渉の報告

12月21日

障教組からは20数名が出席、県教委からは特別支援教育課、学事課、教職員課、教育企画課、財務課からの出席がありました。およそ2時間におよぶ交渉について報告します。

「それぞれの現場の状況、そして教職員の生の声を県に伝えるべく」交渉に臨みました。

要求書に対する県教委からの回答概要

学校の環境整備 過大過密の解消 OR6 年阪神北に新設校開設、阪神は増築、芦屋は対策を検討中。その他の地域は、その後に。 O90 分超の長時間通学は県下で 20 名程度。SB 乗車は 90 分以内、乗車率80~90%というルールのもと、コースや台数変更等見直している。	寄宿舎教員採用 O新規採用については引き続き検討。 (寄宿舎のあり方は後日回答予定)
障害児教育の施策のあり方 O進路は、兵庫労働局や知事部局(福祉)など、関係機関と協議するなど連携している。来年度技能検定 PC 部門は企業と共同開発で。重度の生徒も就労できるようにこれから考えていきたい。	妊娠負担軽減 OQ&A見直しについて、今年度中を目途に。 内容については、組合執行部とも確認の上。
ICT 教育 O導入に関して、現場の教職員へのお礼とお詫び。 O担当者の負担減について、ICTサポーター(今年度限り)の活用促進を。	赴任および異動に伴う勤務地域 O採用前の聞き取りは公平性の立場から難しい。 O十分な話を聞くよう校長を指導するとともに、丁寧な配置を心がけたい。
	聴覚障害のある人への情報保障 O来年度より手話通訳の経費を予算化。(ただし、教員のみ校内全体研修に限定)
	教職員定数 O定数確保に努める。幼稚部は国の設置状況をふまえて。

長年の課題のうち、限定的ですが、手話通訳の予算化がやっと実現! しかし、もう待たないにきている寄宿舎教員採用や幼稚部の定数改善をめぐる回答は、相変わらず「検討中」「国の制度がない」を繰り返したり、現実に長距離通勤につながる赴任地決定を「丁寧に行っている」と言い張ったりと、子どもや教員の切実な思いに正面から向き合おうとしない県の姿勢には腹立たしい思いです。また、重度の生徒の進路保証も市町任せで、あいかわらず軽度の生徒の就労にばかり視線が向いていることがわかり、悲しかったです。最後に各分会からも課題を訴えました。和田山特支からの「トイレ緊急改善」の訴えは、すぐさま県から管理職に問い合わせがあり実行されることに。やはり、生の声を伝えることの大切さを痛感しました。

介助員部の交渉では、コロナ禍の SB 添乗の状況を伝えるとともに、病休(有給)の復活や待遇の改善、SB 複数乗車、生活・学習支援員の増員などを訴えました。「密を避ける」ために小学校の校外学習でもバス増車されているのに、なぜ私たちの SB だけ「密」が放置されているのか、病気になっても安心して休めない制度なのか、矛盾がいっぱいです。解決するためには、みんなの力を合わせるしかありません! 組合に集みましょう!

もっと先生を増やして・・・加配要求を出しましょう

4月から学級編制の基準が変更され、それに伴い配当される教員数が変わります。(具体例参照)

これまでの「学級編制基準」が変更され、小中学部では同一学年での学級編制が基本となります(複式学級は限定的)。各校への教員配当数は、学級数を基にしますので、基礎定数が増えます。しかし、県はこれまで「加配」として各校に配当してきた数を減らす方針のようです。これは、教員不足で現場では日々、「先生が足りない」と奔走していることの改善にはなりません。そこで、障教組としてこれまでと同様に加配要求を出します。今まで以上に重要な取り組みになりますので、職場内でよく検討して、分会からの要求を上げてください。(1次締切:1月末)

具体例(小学部:重複学級)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数/ 学級数	
生徒数	2	2	2	1	4	1	12人	
これまで	重1組		重2組		重3組		重4組	4cl
2021年度	重1組	重2組	重3組	※重4組	重5	重6	※重4組	6cl

※ 複式学級(2つの学年の児童数の合計が3人以下のため)



集まらないけどつながろう 学習会案内(誰でも参加できます)

2021年

1月24日(日)

10時~12時

ひょうご教育のつどい(教育研究集会)障害児教育分科会

全体の分科会は中止しますが、障害児教育分科会のみオンラインで実施します。

3会場(神戸・姫路・但馬)もしくはご自宅からご参加ください。

講演 奈良教育大学 越野和之先生

これからの障害児教育がめざすもの—中教審報告(有識者会議)を読み解きながら—
特別支援教育を巡る状況の変化に対応するためとして、学びの場の充実、ICT利活用の推進など新たな方向性が出されました。障害のある子の教育は大きく変わるのでしょうか。私たちはこれから何を大事に実践していけばよいのでしょうか。今、とても大事な時期に来ています。越野先生に報告の内容をわかりやすく読み解いてもらいながら、みんなで考えていきましょう。

参加申し込みは以下の連絡先まで電話かメールでお願いします。会場は神戸(高教組会館)、姫路(労働会館)、但馬(但馬高教組会館)を用意していますが、ご自宅からの参加もOKです。当日9時半に、ZOOMのID等をお知らせします。たくさんの方の参加をお待ちしています。

TEL (078) 341-6745 高教組本部

MAIL ayakko8996@gmail.com 障教組 LINE も可

詳細は

